

備前市の魅力から考える備前市の未来像
備前緑陽高校 二年 石原 大夢

私が思う備前市の魅力は大きく分けて三つあると思います。

一つ目は自然の豊かさです。先日学校の授業の一環としてフィールドワークに訪れた際日生駅から頭島までをサイクリングを通して観光しました。観光場所として外輪海水浴場や狸山展望台などを訪れたのですが海はとても澄んでおり、海水浴にもピッタリで、展望台から見える景色も自然、海、空が一度に一望できとても綺麗でした。また日生ならではの牡蠣を養殖している風景も近くで見ることができ、滅多に見ることが出来ない風景だと思うので、ここも魅力だと思います。

二つ目の魅力は人柄の良さです。こちらも学校のフィールドワークを通して感じたのですが、サイクリングの自転車借りる際に予約もせず、「自転車を四台借りたいのですが大丈夫ですか？」と急に押しかけたのにも関わらず、「大丈夫！大丈夫！」と快く受け入れてくれただけでなく、オススメの観光場所や美味しい飲食店なども詳しく教えてくれました。そして最後には「暑いから気をつけてね、行ってらっしゃい〜」

といったこちらを気にかけてくれるような言葉をかけてくれてとても良い気持ちになりました。またサイクリングを通して違った人からは必ずと言っていいほど全ての人から挨拶をしてくれて、とても気持ちよく観光することができました。

三つ目の魅力は備前市ならではの伝統や歴史だと思います。備前市には日本遺産にも認定されている閑谷学校や世界の中でも名を挙げる備前焼など伝統にまつわる魅力も沢山兼ね備えています。なかでも閑谷学校では、楽しく論語（伝統や歴史）に触れることができる数少ない歴史ある良い施設だと思います。

このように魅力が沢山溢れる備前市ですが年々住民が減少傾向にあります。そのため備前市住民増加に向けての取り組みをすれば今以上に良い市になると思います。その取り組みとしてあげられるのが交通面、経済面での利便性の向上です。今は、電車では約一時間に一本、バスでは一日に片手で数えられるほどしか走っておらず、なおかつ土日には走っていない地域もあります。また伊里や吉永などの地域ではショッピング施設がとてまもなく車を少し走らせなければ買い物に行くことができません。この

ように交通面、経済面ともに利便性が欠けています。そのため若者などは流行や利便性を強く求めるため都会などといった利便性に長けている地域に移住して行くため年々若者が減少しているのではないかと思います。

前文の全てのことを踏まえると備前市の魅力（強み）である三つの事は活かしつつ、交通、経済などの利便性への向上を目指すせばより以上に発展した良い地域になると私は思います。



No one can make you be considerate; it's
your decision.

旧閑谷学校創学350年記念「ろんこカルタ」より